



横浜美術館 館長交代のお知らせ 新館長に蔵屋美香くらやみかが就任します

横浜美術館は、現館長の逢坂恵理子が2020年3月31日をもって退任し、新たな館長に2020年4月1日付にて、蔵屋美香（くらや・みか）が就任することとなりましたので、お知らせいたします。

逢坂恵理子は、2009年4月の館長就任以来、11年にわたり横浜美術館を率いるとともに、2011年、2014年、2017年と3回の横浜トリエンナーレに中心的立場で携わってまいりました。逢坂恵理子は引き続き、横浜トリエンナーレ組織委員会副委員長として、ヨコハマトリエンナーレ2020に関わってまいります。

新たに就任する蔵屋美香は、東京国立近代美術館において数々の展覧会を手掛けるとともに、2013年の第55回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展では日本館キュレーターを務め、国別参加部門で日本館として初めての特別表彰に選ばれるなど、国内外を問わず活躍してまいりました。

横浜美術館はこの4月からの2020年度を終了したのち、2021年3月より大規模改修工事のため休館に入り、2023年度中のリニューアルオープンを目指します。新館長とともに「あらゆる人に開かれ、新しい価値を創造・発信し続ける美術館」を目指し、横浜の芸術拠点としての活動を一層発展させてまいります。

引き続き、横浜美術館へご指導・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

※次ページに逢坂恵理子退任にあたってのご挨拶がございます。



撮影：田中功起

蔵屋 美香（くらや・みか）

■略歴

1966年 千葉県生まれ

1993年より東京国立近代美術館勤務。

2008年より同館美術課長、2016年より同館企画課長

2013年 第55回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展
日本館キュレーター（特別表彰）

2018年 第7回横浜トリエンナーレアーティストック・
ディレクター選考委員会委員 ほか

■主な展覧会

「ビデオを待ちながら：映像、60年代から今日へ」（2009年 東京国立近代美術館／三輪健仁との共同キュレーション）

「ぬぐ絵画：日本のヌード 1880-1945」（2011-2012年 東京国立近代美術館／第24回倫雅美術奨励賞）

「高松次郎ミステリーズ」（2014年 東京国立近代美術館／保坂健二郎、榊田倫広との共同キュレーション）

「没後40年 熊谷守一 生きるよろこび」（2017年 東京国立近代美術館）

「窓展：窓をめぐるアートと建築の旅」（2019-2020年 東京国立近代美術館／五十嵐太郎との共同キュレーション）

abstract speaking - sharing uncertainty and collective acts（邦題：抽象的に話すことー不確かなものの共有とコレクティブ・アート）
（2013年 第55回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館 アーティスト：田中功起 特別表彰）

退任のごあいさつ

このたび私は、2020年3月31日をもって横浜美術館館長を退任することとなりました。11年の長きにわたり、ご支援いただきました皆様に、改めて心より御礼申し上げます。

2009年4月の着任時は、横浜市が導入した指定管理者制度のもと、横浜美術館は、指定管理者として2年目の厳しい時期を迎えていました。同年9月に着任した林文子市長は、文化政策を積極的に打ち出し、横浜美術館の新たな試みや努力を支持してくださいました。

2013年からの指定管理第二期は、「国際性と発信力」「教育プログラム」「市民との連携」「営業力」「経営基盤」をそれぞれ強化することを念頭に、時代の変化に即して横浜美術館の新たな魅力を引き出す活動に重点を置いてまいりました。昨年11月に横浜美術館は開館30周年を迎えました。年間を通じ特徴ある企画展、国際シンポジウム、記念書籍の発行、海外の美術館での当館写真コレクション展の開催など、館員が一丸となってこれまでの成果を結実させることができた1年でした。そして今年、ヨコハマトリエナーレ2020を含む3つの展覧会を終えた後、2021年3月から横浜美術館は、大規模改修のため閉館いたします。

こうした節目は、館長交代にふさわしい時期です。このたび、学芸員として国内外で優れた実績を積んできた蔵屋美香さんが、第6代館長に就任する運びとなりました。まだ50代前半の若い館長であるからこそ、時代に呼応した美術館像を検証し、魅力ある文化拠点として、リニューアルオープン後の新生横浜美術館を牽引してくださいと確信しています。

海外に開かれた港町、横浜は、19世紀半ばから国内外の人や文化、技術、情報の交流を促進してきました。21世紀を象徴する開発地、みなとみらい21地区に位置する横浜美術館は、交流を通して美術の振興に寄与し、多様性を享受し、時代が変遷しても人間性にとって美術が必要不可欠であることを発信する場として、新館長のもと、市民の皆様とともに歩んでいくことでしょう。

引き続き、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

2020年2月

横浜美術館 館長
逢坂 恵理子

本件についてのお問合せ先 *本日は17時まで在席しております。

横浜美術館	【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】	横浜市西区みなとみらい3-4-1	Tel 045-221-0300(代表)
経営管理グループ	グループ長	榎崎	Tel 045-221-0307
広報担当		藤井、山本、梅澤、桑原	Tel 045-221-0319